



環境報告書 2012

人を想い、
地球を想う。



三ツ星ベルト株式会社

目次

1. ごあいさつ	1
2. 会社概況	2
3. 製品紹介	3
4. マテリアルバランス	4
5. 環境経営（環境マネジメント）に関する状況	
5. 1 環境方針	5
5. 2 環境推進組織	6
5. 3 ISO14001 認証取得状況	6
5. 4 環境会計情報	7
5. 5 グリーン調達推進状況	8
5. 6 環境配慮製品の開発	9, 10
5. 7 環境配慮輸送に関する状況	11
5. 8 社会への貢献／コミュニケーションの状況	12
6. 環境保全に向けた取り組み	
6. 1 総エネルギー投入量	13
6. 2 総物質（資材）投入量	13
6. 3 温室効果ガス（CO2）の排出量	13
6. 4 化学物質の排出量	14
6. 5 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量	15
6. 6 環境保全に向けた取組	15
7. 事業場別環境データ	16

本報告書の対象範囲

この報告書は三ツ星ベルト株式会社の2011（H23）年度（2011年4月～2012年3月）の環境経営活動についてのものです。対象とする事業場は主として神戸本社／事業所、四国工場、名古屋工場ですが、一部それ以外の事業場の記述・データも含んでいます。尚、各事業場には同じ敷地内に立地する関係会社を含みます。

紙資源節約のため本報告書は原則的にインターネットホームページへの掲示のみとしております。

1. ごあいさつ

当社の環境経営活動は、1996年に、担当役員の任命とともに安全環境管理部を設置した時点から、本格化したしました。これは世界的な環境問題に対し、全社的かつ積極的に取り組むためであり、当社の「人を想い、地球を想う」という基本理念を具体的なものとするためであります。

同年には、ISO14001認証取得に向けて、翌1997年から国内主要事業場の取り組みを開始し、2002年までに国内主要事業場全ての認証取得を果たしました。さらに2003年3月には、事業場ごとのマネジメントシステムを、全社的な一つのシステムとして統合いたしました。また、当社海外グループ工場においても、MBL (USA) CORPORATION (アメリカ)、P. T. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA (インドネシア)、MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED (シンガポール)、STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LTD. (タイ)、SUZHOU MITSUBOSHI BELTING CO., LTD (中国)に引き続き、2008年にはP. T. SEIWA INDONESIA (インドネシア)が認証取得し、世界規模で主要生産拠点の認証取得を完了し、維持しております。

マネジメントシステムの認証取得の一方で、ゴム・樹脂製品の専門メーカーとして、環境にやさしい新製品の開発、製造工程からの廃棄物削減・リサイクル促進、CO₂排出削減、有害物質削減、環境負荷の少ない原材料・部品・製品のグリーン調達といった諸活動を着実に進め、ノンハログンベルトの開発、廃棄物のリサイクル、有機溶剤の水系素材への転換、欧州RoHS・ELV指令、REACH規則等への対応などの成果を上げております。

また、2007年より、“PRIMESTARS”シリーズとして全製品のグレードアップを図り、高性能・高精度・高品質な製品を展開しており、2008年には、世界で初めて樹脂とゴムの特長を生かしたまったく新しい無段変速機用ベルト〔商品名：narromadillo(ナロマジロ)〕、2009年には曲げ抵抗を低減し省エネ効果が期待できる、食品用樹脂コンベヤベルト“ママライン”MX333シリーズを、また自動車の燃費向上に寄与する自動車向け低モジュラスVリブドベルト「Star Fit」を販売いたしました。加えて2012年には節電効果を従来比2倍に向上させた省エネルギー用Vベルト「ULTRA e-POWER」を販売しました。

基本理念の取り組みの一つとして、1993年から従業員によるボランティア団体：三ツ星ベルトふれあい協議会を組織し、地域に密着したふれあい活動の中で、神戸市が推進する学校ビオトープづくりに協力し、防水ゴムシートの無償提供とボランティア社員による施工技術の提供を行っており、これまでに設置したビオトープ池は100以上に上り、子どもたちが自然とふれあうことのできる環境づくりに貢献しています。この活動に対し1998年には神戸市から「環境功労賞」を、2008年には環境省から「みどりの日・自然環境功労賞」を、2009年には兵庫県から「兵庫県社会賞」をいただきました。

この報告書は、当社の2011年度の地球・地域環境保全活動の取り組みや成果を皆様方にお知らせする、第11回目の報告書であります。この報告書により、当社活動へのより深いご理解とともに、皆様方からのご意見を頂ければ幸いに存じます。

2012年12月
三ツ星ベルト株式会社



代表取締役会長
西河 紀男



代表取締役社長
垣内 一

2. 会社概要 (2012年3月31日現在)

創業： 1919 (大正8)年10月10日

資本金： 81億5千万円

売上高： 546億円 (連結)

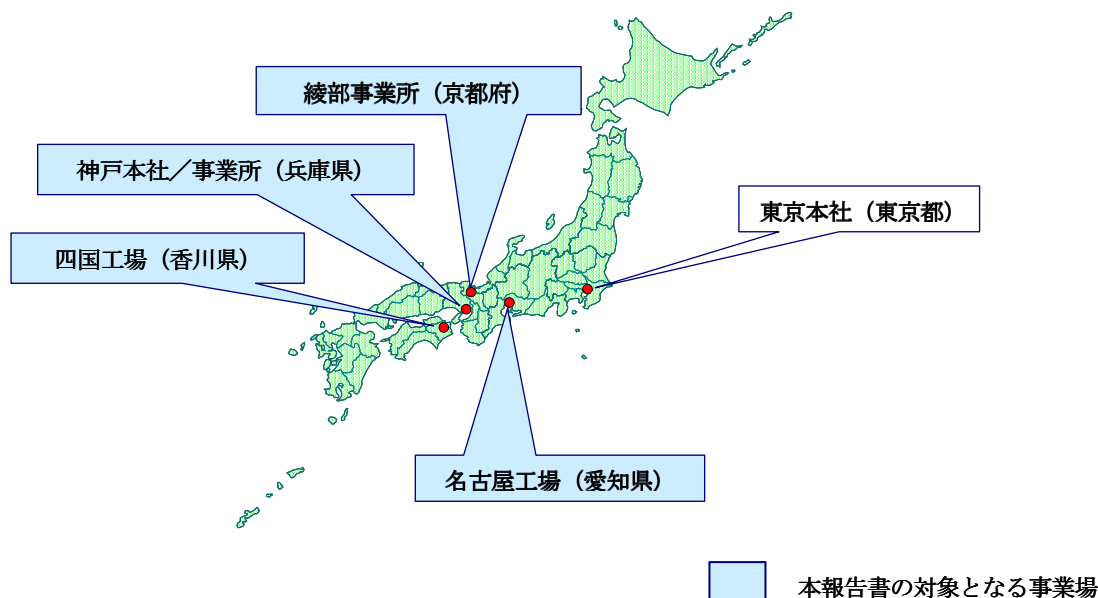
従業員数： 4,183人 (連結)

営業品目： 伝動ベルトおよび関連機器
搬送ベルトおよびシステム・関連製品
エンジニアリングプラスチック
発泡射出成形品 (エンジニアリングストラクチャルフォーム)
防水・遮水材
金属ナノ粒子関連製品

神戸本社 所在地： 〒653-0024 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号
電話： (078)671-5071 代表
FAX： (078)685-5670 代表
HP： <http://www.mitsuboshi.co.jp>

東京本社 所在地： 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号
電話： (03)5202-2500 代表
FAX： (03)5202-2520

■ 主要事業場・工場所在地



3. 製品紹介



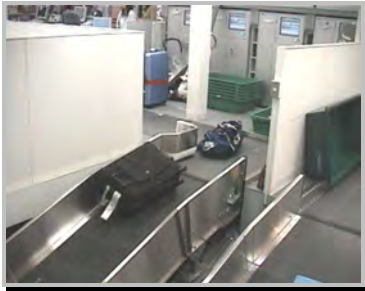
省エネルギー用Vベルト



農業機械用ベルト



自動車用
低モジュラスVリブドベルト



空港手荷物搬送用
樹脂コンベヤベルト



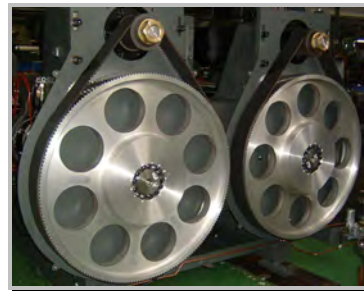
食品搬送用
抗菌・防カビ樹脂ベルト



食品搬送用
『ママライン』パン搬送に使われる樹脂ベルト



製鉄・砕石用
ウレタンスクリーン



金属製品
ゴムタイミングベルト用プーリ



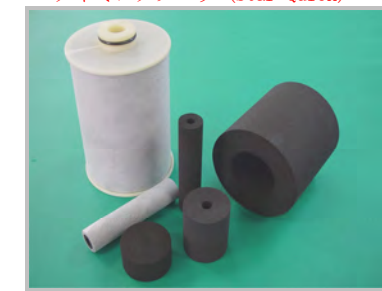
金属製品
タイミングプーリ (Star Quick)



環境対応型防水シート
ヒートジョイナーーフ



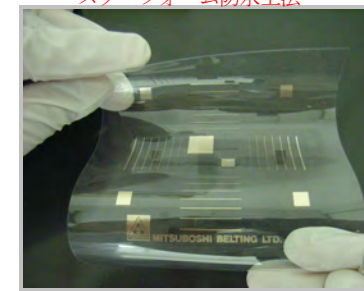
環境配慮型断熱防水工法
スターフォーム防水工法



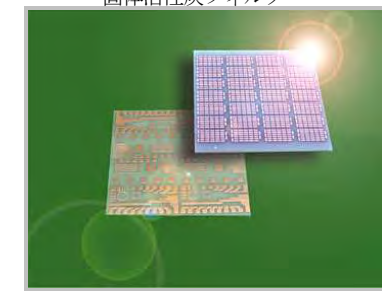
浄水器用
固体活性炭フィルター



新生児・保育器用
発泡射出成形品

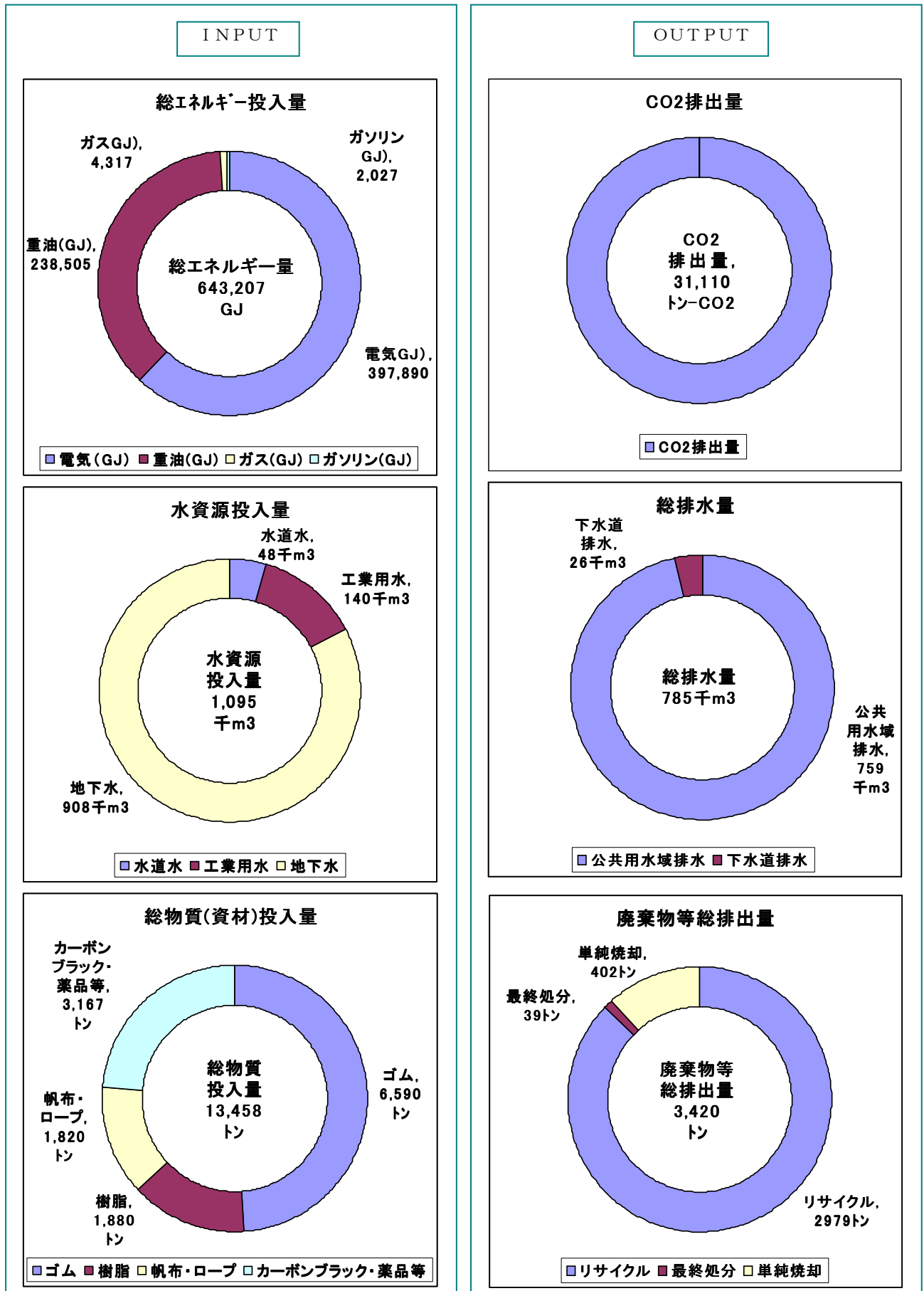


高導電 銀ナノ粒子ペースト
M D o t (エムドット)



セラミックス基盤用
銅導体ペースト

4. マテリアルバランス



5. 環境マネジメントに関する状況

5. 1 環境方針

基本理念

- 今日に誇りを持ち、明日に希望を託し行動する
- 人を想い、地球を想う

経営基本方針

- 高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する

環境基本方針

1. 三ツ星ベルト株式会社は、ベルト、樹脂製品、自動車部品、建材・土木シートおよび新商品等の「高機能、高精度、高品質」なゴム・プラスチック等の製品群のメーカーとして、環境への多大なかかわりをもっていることを認識し、全ての事業活動において環境との調和をめざした製品技術・生産技術などの開発により技術領域を広げていくとともに、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもとに地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進する。
2. 材料、エネルギーの投入から開発設計、製造、販売等の各段階より生み出される事業活動・サービスにかかわる環境影響を的確に把握し、汚染の防止及び予防に努め、継続的に改善する。
3. 資源の採取から製造、使用、廃棄等に至るまで当社の製品が環境に及ぼす影響を把握し、部品・材料及び製造段階での有害物質の不使用、リサイクル材の使用、リサイクル性を配慮した設計と製造等の取り組みを通じグリーン商品の提供を推進する。
4. 環境に関する法規制およびその他関連する要求事項を遵守するとともに、各事業場の立地における自然環境を維持し、地域社会の一員としての自覚と責任をもち、地域における環境保全に努める。
5. 環境管理体制の整備、充実をはかり、省資源・省エネルギー・廃棄物の低減・リサイクルの促進・環境負荷物質の削減などの目的・目標を定め、定期的に見直し、従業員ひとりひとりに徹底し、これらの環境活動の継続的改善を推進する。
6. この環境基本方針は維持され、毎年度見直され、実行されるものとする。また、この環境基本方針は構内全従業員に周知されるよう徹底する。
7. この環境基本方針は、社外開示用に文書化し、一般の人まで入手可能なものとする。

2012年4月1日

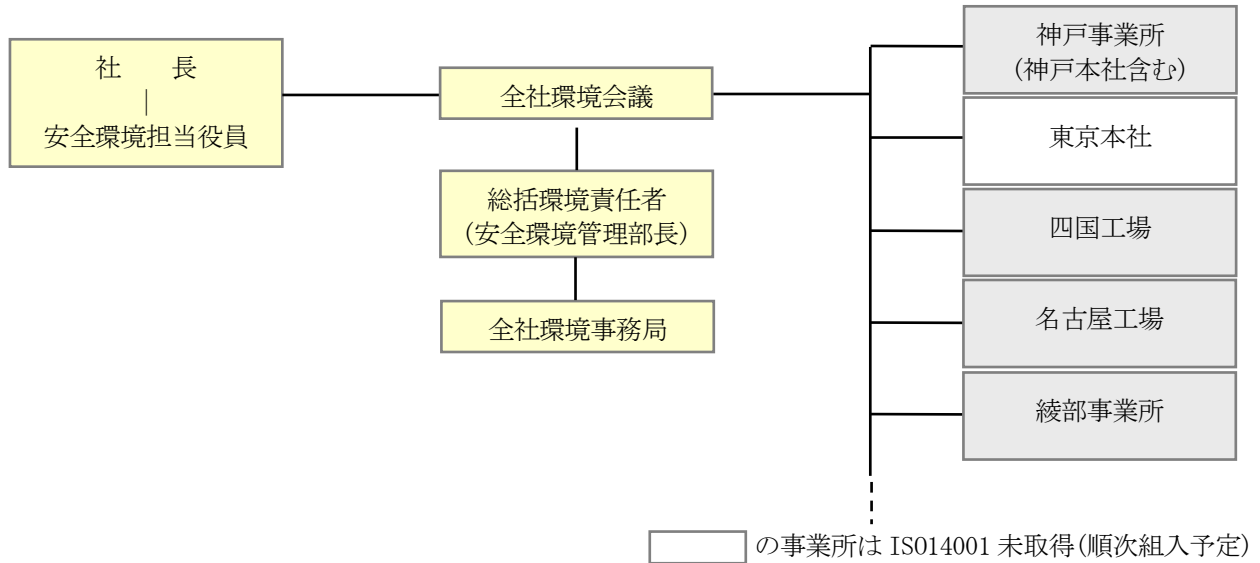
三ツ星ベルト株式会社
代表取締役社長
垣内 一

5. 環境マネジメントに関する状況

5. 2 環境推進組織（2012年7月末現在）

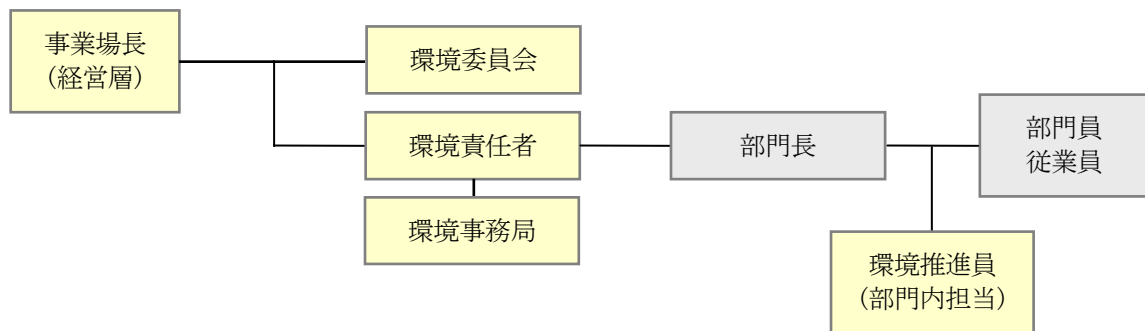
〈 全社統括組織 〉

〈 各事業場管理組織 〉



〈 各事業場管理組織 〉

〈 管理組織単位=部門 〉



各事業場組織は構内常駐協力社員を含み設定

- 各事業場では、毎月、事業場長のもと地区環境委員会を、全社では、年2回、最高経営層のもと全社環境会議を開催し、改善見直しを実施しています。

5. 3 ISO14001認証取得状況（2012年8月末現在）

事業所・工場	取得年月日	認証/審査機関	認証番号	対象製品
神戸本社・事業所 四国工場 名古屋工場 三ツ星ベルト技研(株)	1999/9/24	BVC	2602096	伝動ベルト、 搬送ベルト、 エンブラ、 樹脂成形品、 防水・遮水材
MBL (USA) CORPORATION (アメリカ)	2002/12/10	ABS	37296	伝動ベルト
P. T. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA (インドネシア)	2003/3/19	DQS	DE-431552UM	伝動ベルト
MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED(シンガポール)	2004/12/15	SGS	SG07/01532	伝動ベルト
STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LTD. (タイ)	2006/9/14	BVC	TH003940	伝動ベルト
SUZHOU MITSUBOSHI BELTING CO., LTD (中国)	2007/10/22	BVC	273401	伝動ベルト
P. T. SEIWA INDONESIA (インドネシア)	2008/11/6	DQS	DF-371038UM	伝動ベルト

5. 環境マネジメントに関する状況

5. 4 環境会計情報

■ 環境保全コスト

(千円)

分類		2011年度	
		投資額	費用額
1. 事業エリア内コスト	公害防止（水質汚染防止）、地球環境保全（省エネ）、資源循環（再資源化・廃棄物処理）など	29,786（*1）	91,682（*2）
2. 上・下流コスト	グリーン調達管理、容器包装委託など	—	—
3. 管理活動コスト	環境マネジメントシステム運用・維持、化学分析、環境負荷監視・計測、緑化・美化など *但し、人件費は除く	4,150（*3）	6,405（*4）
4. 研究開発コスト	環境負荷抑制（リサイクル）、環境保全（省資源・省エネ）に資する製品開発など	7,961（*5）	115,030（*6）
5. 社会活動コスト	環境活動への支援、環境汚染賦課金など	—	4,470（*7）
合計		41,894	217,587

（*1）排水装置、省エネ設備（空調・ボイラー・コンプレッサー・照明器具等）投資

（*2）再資源化・廃棄物処理費用

（*3）環境管理システム整備投資

（*4）監視測定、外部審査費用

（*5）省エネベルト開発試験装置、工法開発試作投資

（*6）脱ハロゲン・省エネベルト開発、リサイクル研究費用

（*7）環境活動費用、環境汚染賦課金

■ 環境保全効果

分類	効果内容	対前年度増減量
地球環境保全	CO ₂ 排出量（t-CO ₂ /年）	-2,104
	原油換算エネルギー使用量（k l/年）	-1,114
	有機溶剤使用量（t/年）	-5
	化学物質排出・移動量（t/年）	-1
資源循環	埋立廃棄物量（t/年）	-51
	排水量（千m ³ /年）	+453

5. 環境マネジメントに関する状況

5.5 グリーン調達推進状況

■ グリーン調達基準書の策定

三ツ星ベルトグループでは、原材料・部品・製品の調達にあたって、「品質、価格、納期」だけでなく、「環境負荷、環境保全に関する取組み」も調達基準に加えて、総合的に評価しております。

2005年3月にグリーン調達基準書を策定、以後最新の法規制動向を反映した改訂をこれまでに6回実施し、直近版は2012年4月に改訂実施しました。同基準書において、132種類の含有禁止物質と92種類の含有管理物質を指定し、当社評価基準によって有害性を把握し管理しております。

グリーン調達方針

- 環境保全の進んだ工場で作られた物を調達する。
- 環境負荷の少ない原材料、部品、製品を調達する。

■ サプライチェーンマネジメント

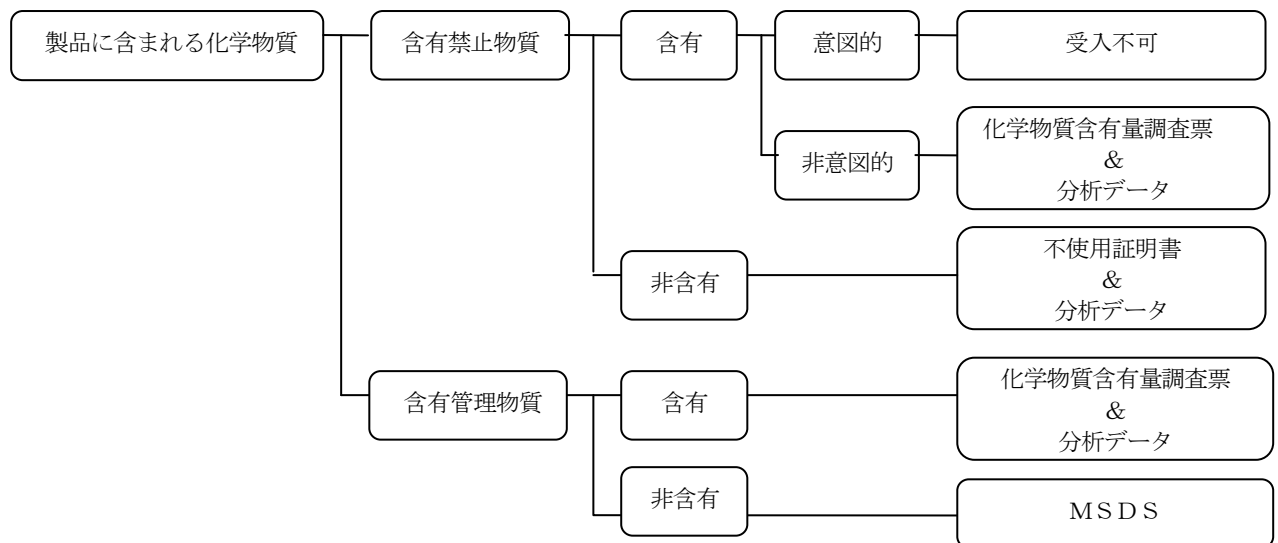
「グリーン調達基準書」に基づき、原材料等の調達前には、環境負荷物質に関する調査により、含有されていないことを確認し、「非含有証明書」を入手した上で、正式に調達を開始しております。

また、定期的に取り引先様を訪問し、化学物質管理状況について監査することにより、三ツ星ベルトグループ内に環境負荷物質が入らないよう、監視を続けております。2011年度には5社の訪問診断を実施し、2012年度も9社の診断を計画しております。

また、グリーン調達管理システム（FGeeMS/GCF-A）を導入し、運用中です。

■ 化学物質に関わる評価

製品に含まれる化学物質に係る当社評価のフローチャートに示します。



■ 化学分析装置の導入

原材料・部品・製品の調達・納入にあたって、誘導プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)、蛍光エックス線分析装置、水銀分析装置等の化学分析装置を導入し、含有禁止物質の自社分析を実施しています。

5. 環境マネジメントに関する状況

5. 6 環境配慮製品の開発

当社は環境配慮製品の提供を通して、地球環境保全に取り組んでおります。

「自動車用低モジュラスVリブドベルト」



Star Fit

自動車用低モジュラスVリブドベルト「Star Fit」を採用することで張力調整不要となり、アイドル&ブラケットレス化により約1.5kgの軽量化ができ、燃費向上に貢献します。

従来の軽負荷駆動	重量	低モジュラスVリブドベルト使用	重量
	ベース		▼約1.5kg

「省エネルギー用Vベルト」



ULTRA e-POWER

ダブルログ形状を有した ULTRA e-POWER® は、従来品の e-POWER® に比べ屈曲性に優れています。さらに特殊配合ゴムを使用することで動力の伝達ロスを少なくし、**節電効果があります**。標準タイプのプーリーに対応することができ、ベルトのみの交換で使用可能です。発電機や空調設備で**節電の切札**としてご利用頂けます。

「省エネルギー用Vベルト」



e-POWER Premium

表面を特殊カバーで覆ったラップドタイプで、起動と停止が繰り返される使用条件などで**節電効果を発揮**します。**静粛性にも優れるため、幅広い分野での使用が可能**となりました。ノッチ加工でベルトの曲げロスを低減し、高硬度ゴム配合により高負荷時の変形を抑え、伝達性能を向上しています。ストライプ帆布を採用することにより、**ベルトスリップを大幅に低減**することが出来ました。

5. 環境マネジメントに関する状況

「環境対応型防水工法」



完全環境対応型防水工法「ヒートジョイナー工法」

建築防水の分野においても、環境問題への強い関心もたれています。加硫ゴムシートの持つ長寿命・高品質な特徴に加え、**有機溶剤を一切使用しない**環境にやさしい工法を開発しました。熱融着による接合により、安定した施工品質と迅速な施工が出来ます。カラーシートの採用により、経年後の塗料塗り替えが不要、繊維補強により耐外傷性を強化しました。

「環境対応型ゴムシート防水材」



環境対応型フィルム無し接着剤付加硫ゴム系シート防水材

セパレータフィルムを使用しない片面接着工法用の、接着剤付加硫ゴム系防水シート「**ネオ・ルーフィングE糊付き（フィルム無し）**」を開発しました。従来の接着剤付シートに比べ、**施工能率が向上し、また廃材も大きく削減できる環境対応型**の防水シートです。

- 廃材発生が大幅に削減できます
- 施行能率が向上します
- 安定した施工品質が得られます
- 環境に配慮した素材です

「環境配慮型露出断熱防水工法」



環境配慮型建築分野露出断熱防水工法 「スターフォーム防水工法」

耐久性に優れたゴムシートを使用し、耐熱性に優れたポリスチレンフォームと高反射塗料で**夏の暑さや冬の寒さから空調費を低減**します。またスターフォーム防水工法は**無溶剤系接着剤を用いた被せ工法**により騒音や振動がなく**廃棄物の発生を低減する環境に優しい防水工法**です。

- 断熱材と高日射反射塗料により冷暖房空調費低減します。
- 耐久性に優れ長寿命化を確保しています
- 接着工法で静かな施工が可能です。
- 環境に配慮した素材です

「食品搬送用樹脂ベルト」

- ・ベルト収縮



左側 新製品 右側 従来品（収縮で波打ち）

- ・柔軟性



新製品



従来品



ネオフレックススタート

ママライン

低収縮ベルト MX 3 3 3 W

MX 3 3 3 Wは新開発の裏面帆布の採用により、**海産物や食肉、パン生地などの搬送で問題となるベルトの収縮を防ぎます。**

収縮の無いベルトはプーリーシャフトへの過荷重を解消し、**モーターに無駄な電力を消費させません。**

5. 環境マネジメントに関する状況

5. 7 環境に配慮した輸送に関する状況

製品の配送、生産拠点間の製品・仕掛品・副資材等の輸送に伴う環境負荷を低減すべく、

■輸送効率の向上

■包装/梱包の改善

に取り組んでおります。

輸送に係る CO₂、NO_x 等の排出量の低減に対し、今後とも施策の検討、実行に取り組んで参ります。

■輸送効率の向上

●トラック輸送積載効率の向上

- ・ダンボールサイズの見直しによる、梱包効率の最適化
- ・往復便の空スペースを反映した、定期便スケジュールの最適化による、積載効率の向上

●製品保管基地倉庫を見直し、出荷時の輸送ロスを低減

●製造基地倉庫から顧客への直接出荷を拡大し、拠点間輸送のロス排除による輸送効率の向上。

●製品と原材料、仕掛品の拠点間ミルクランを展開し、関係会社含めた全社輸送効率の向上

■包装/梱包の改善

●カートンボックスの再利用

●カートンボックスの種類を整理・統合し、総使用量を低減

●カートンボックスの材質見直しによる、リサイクル紙使用比率の高い材質への変更

■その他の取り組み

●保管温度制限対象品の航空便輸送から、リーファーコンテナ(温調コンテナ)利用による海上輸送への変更

●バッテリーフォークリフト導入拡大と内燃機関フォークリフトの小型化、LPG化

●輸送委託先への要請

- ・共同輸送・配送等の計画化による、トラック使用の合理化
- ・輸送ルート・輸送手段の工夫
- ・適正車種を選択
- ・積載率の向上
- ・トラックの定期点検整備の実施
- ・ハイブリッドトラックの導入要請とアイドリングストップの励行
- ・経済的な運転(エコドライブ)に対する運行管理の向上要請

5. 環境マネジメントに関する状況

5. 8 社会への貢献/コミュニケーション

■ 地域と共にまちづくりを推進

1995年1月に発生した阪神・淡路大震災の後、2000年11月に神戸本社を神戸市中央区ハーバーランド地区から、創業の地である神戸市長田区に復帰させ、これを機に、三ツ星ベルト従業員で構成する社内任意団体「三ツ星ベルトふれあい協議会」を結成し、イベント開催など様々な活動を通じて地域社会とのふれあいを行っています。

イベントとしては、新一年生お祝い行事「わたしたちみんなピッカピカのこどもたち」、「たなばたまつり」を始め、「クリスマス会」などを開催しています。

企業としてまちづくりに参画するようになって、早や10年、時代が変われば地域とのあり方も変わっていくはずですが、変わらずに持ち続けたい企業理念とまちとの柔軟なかかわり方を推進します。

2010年3月、兵庫県より三ツ星ベルトふれあい協議会の取組に対し、震災復興支援活動について感謝状を授与されました。



神戸本社・事業所「ピッカピカのこどもたち」



神戸本社・事業所「たなばたまつり」



神戸本社・事業所「クリスマス会」

■ 製品の無償提供と施工協力で環境教育を支援

神戸市の小中学校では池を造り、植物を育て、生物と親しむ、自然と共生できる環境を校内につくる活動「学校ビオトープ」が進められています。三ツ星ベルトはこの活動に土木用遮水ゴムシートの無償提供や、従業員のボランティアによる施工協力を行い、現在までに神戸市内の小・中学校に100を超えるビオトープ池を完成させています。三ツ星ベルトは自社の製品と技術で生物多様性保全への取組みの一環として子どもたちの環境教育を支援しています。身近な自然の創出に尽力したことが評価され、2008年度の「みどりの日」自然環境功労者として環境大臣表彰を受賞いたしました。



施行前



施工後

■ 省エネ活動への取組、省エネ貢献製品の提供

三ツ星ベルトは全従業員による省エネ取組活動を強力に推進し、サマータイム、クールビズ、冷暖房温度の適温設定、不要時の消灯徹底、高効率伝動機及び照明の導入推進 等々 一丸となって省エネ活動に取り組んでいます。また、省エネに貢献する製品づくりを推進、社会に提供しています。

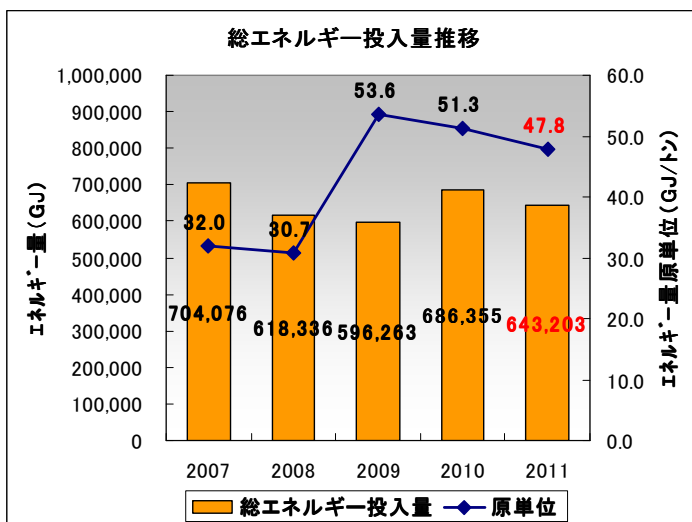


“節電”表示がキラリ輝く
省エネ貢献Vベルト「ULTRA e-POWER」

6. 環境保全に向けた取り組み

三ツ星ベルトは、日本ゴム工業会の「自主行動計画・目標」への参画を通じて、温暖化対策（CO₂削減）、3R対策（排出物発生抑制・リサイクル化）、VOC（揮発性有機化合物）排出削減などを推進しています。

6. 1 総エネルギー投入量

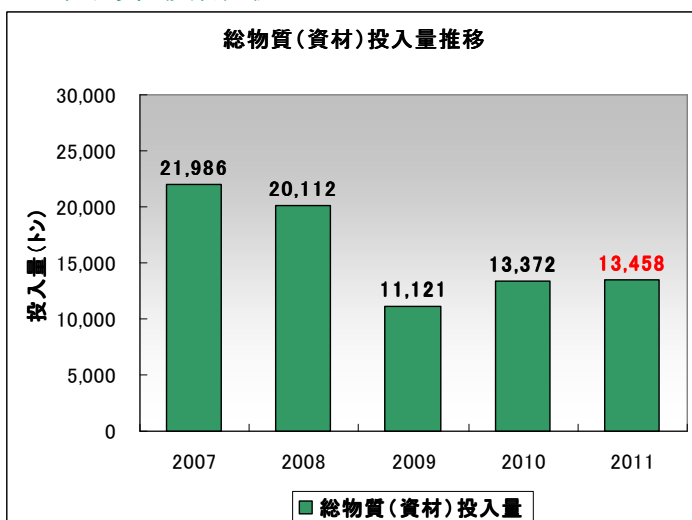


総エネルギー投入量は対前年度比 **6.3%の減少**、原単位は **6.8%の減少**。

2010年度改正省エネ法で、特定事業者指定され、省エネ活動を推進しています。2011年度には省エネプロジェクト活動を推進し、空調・ボイラー・コンプレッサー・照明および生産設備などの省電力活動に取組みました。

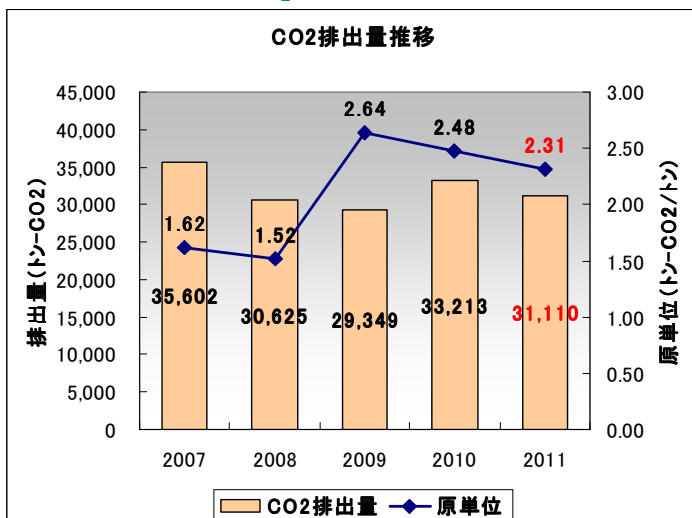
☆2009年度、四国工場では屋上には太陽光発電装置を設置し、省エネルギーとあわせて環境にやさしい工場になりました。

6. 2 総物質（資材）投入量



総物質（資材）投入量は対前年度比 **1%の増加**。

6. 3 温室効果ガス（CO₂）排出量

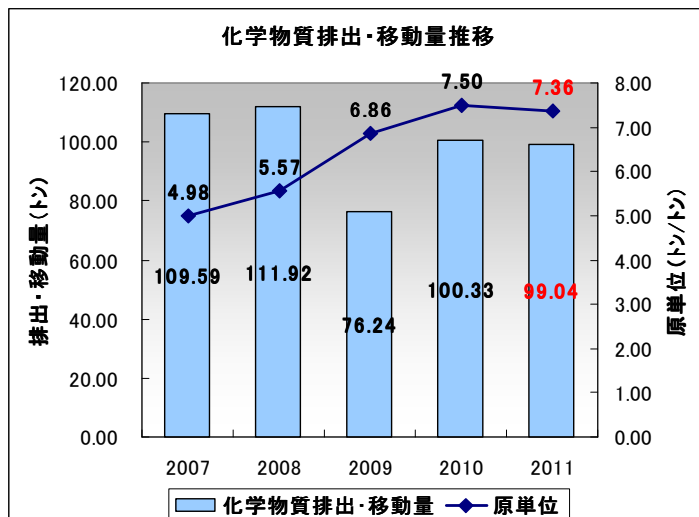


温室効果ガス（CO₂）は対前年度比 **6.3%の減少**、原単位は **6.9%の減少**。

業界を通じて政府の試行排出量取引制度へ参画し、活動しています。

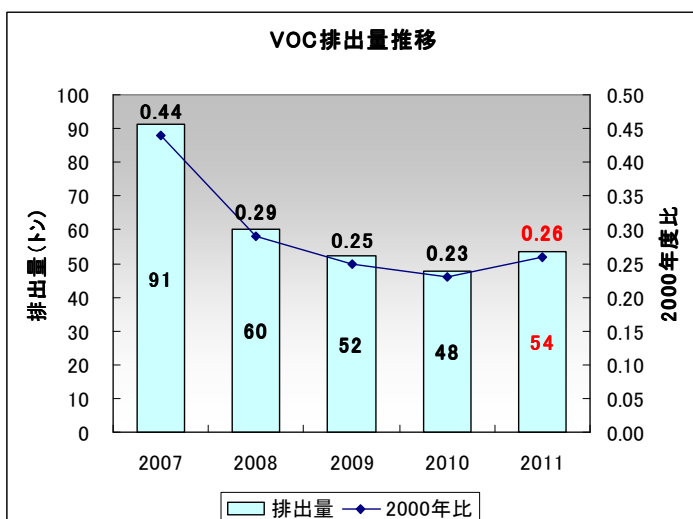
6. 環境保全に向けた取り組み

6. 4 化学物質排出量、VOC排出量



化学物質排出移動量は、対前年度比
1.3%の減少、原単位は1.9%の減少。

化学物質排出・移動量 (P R T R法第1種指定物質)	排出量 (kg)	移動量 (kg)
ε-カプロラクタム	79	46,460
トルエン	21,678	11,040
キシレン	3,702	2,322
ジクロロメタン	4,250	165
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	495	0
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	28	3,232
1, 3-ジフェニレンジアミン	0	87
3, 3'-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン	0	3,362
N-(1,3-ジメチルブチル)-N'-フェニル-P-フェニレンジアミン	0	875
テトラエチルチウラムジスルフィド	0	47
2-イミダゾリジンチオン	0	13
メチレンビス(4, 1-フェニレン)ジイソシアネート	0	0
その他	707	495
合計	30,939	68,098

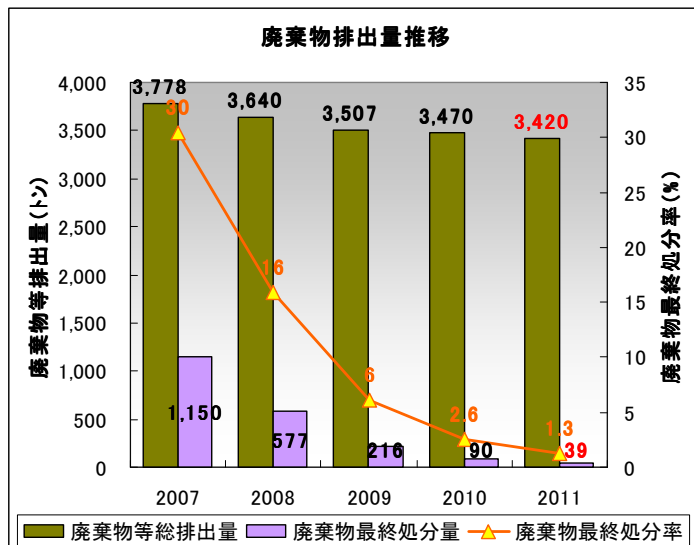


揮発性有機溶剤 (VOC) 排出量は
対前年度比13%の増加、原単位も
13%の増加。

揮発性有機溶剤(VOC)排出量は、
塗料、接着剤の水性化、接着剤
の溶剤レス化などにより、
2000年度比74%低減し、業界の2010
年35%削減目標を前倒しで達成しまし
た。

6. 環境保全に向けた取り組み

6. 5 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量



廃棄物等総排出量は対前年度比 **1.4%** の減少、廃棄物最終処分量は前年度比 **57%** の減少。

2011年度は、2009年度迄にゼロエミッションを達成した神戸本社・事業場、名古屋工場、綾部事業所でゼロエミッション達成維持し、全社でも**ゼロエミッション達成維持**しました。

本年度は、ゼロエミッション目標値を更に低減し、継続して国内全事業所でゼロエミッション達成維持を目標に活動展開致します。

6. 6 環境保全に向けた取組



神戸本社・事業所、及び各製造事業所では植栽により事務所の窓にグリーンカーテンを設置し、遮熱対策をして節電に取り組んでいます。

また、四国工場では屋上に太陽光パネルを設置し発電量を自家消費に取り入れ、省エネ活動に取り組んでいます。



再整備を進める神戸事業所。その東南に位置する面積 1,300 m² にあった古い事務所や倉庫などを解体し緑化広場として整地し直しました。地域環境の向上、及び生物多様性の保全への取組として、また社員の健康増進などの多目的に使えるスペースとして活用を図ります。

7. 事業場別環境データ（2011年4月～2012年3月）

			神戸本社・事業所	四国工場	名古屋工場	綾部事業所				
住所			〒653-0024 兵庫県神戸市長 田区浜添通4丁 目1-21	〒769-2401 香川県さぬき市 津田町津田2893 番地	〒485-0077 愛知県小牧市大 字西之島1818	〒623-0003 京都府綾部市城 山7番1				
電話番号			078-671-5071 (大代表)	0879-42-3181 (代表)	0568-72-4121 (代表)	0773-43-3051 (代表)				
環境責任者氏名			三木 泰利	石井 隆	荷福 誠	井原 史雄				
構内従業員数（社員+構内常駐協力会社従業員他）			471名	414名	293名	320名				
1. 水質汚濁に関する負荷										
pH	法規制値	—	5~9	5~9	5~9	5.8~8.6				
	自主管理値	—	6~9	6~8	6~8	6.3~8.1				
	実績値(最大)	—	8.3	7.6	7.5	7.4				
BOD	法規制値	mg/l	下水道	120以下	120以下	160以下				
	自主管理値	mg/l		10以下	10以下	13以下				
	実績値(最大)	mg/l		1.5	4.8	5.6				
窒素	法規制値	mg/l		60以下	60以下	120以下				
	自主管理値	mg/l		20以下	20以下	3以下				
	実績値(最大)	mg/l		4.1	5.7	1.5				
リン	法規制値	mg/l		8以下	8以下	16以下				
	自主管理値	mg/l		2以下	4以下	0.1以下				
	実績値(最大)	mg/l		0.26	0.32	0.02				
油分	法規制値	mg/l		5以下	5以下	5以下	5以下			
	自主管理値	mg/l	4以下	3以下	1以下	0.7以下				
	実績値(最大)	mg/l	0.9	1.0未満	1.0未満	0.5未満				
2. 大気汚染に関する負荷										
窒素酸化物 (NOx)	法規制値	ppm	180以下	260以下	180以下	260以下				
	自主管理値	ppm	60以下	140以下	130以下	200以下				
	実績値(最大)	ppm	38	120	124	110				
煤じん量	法規制値	g/Nm ³	0.1以下	0.3以下	0.1以下	0.3以下				
	自主管理値	g/Nm ³	0.007以下	0.2以下	0.1以下	0.11以下				
	実績値(最大)	g/Nm ³	0.005	0.008	0	0.004				
硫黄酸化物 (SOx)	法規制値	Nm ³ /HR	ガスボイラー	1.06~3.38	1.6以下	0.7以下				
	自主管理値	Nm ³ /HR		0.2以下	1.0以下	0.07以下				
	実績値(最大)	Nm ³ /HR		0.089	0.044	0.071				
3. 化学物質排出・移動量 (PRTR法第1種指定物質)										
			排出量	移動量	排出量	移動量	排出量	移動量	排出量	移動量
ε-カプロラクタム	kg	0	0	0	0	79	46,460	0	0	
トルエン	kg	3,733	0	14,800	0	1,612	0	1,533	11,040	
キシレン	kg	2,933	2,322	294	0	475	0	0	0	
ジクロロメタン（別名塩化メチレン）	kg	4,250	165	0	0	0	0	0	0	
エチレングリコールモノエチルエーテル アセテート	kg	495	0	0	0	0	0	0	0	
フタル酸ビス（2-エチルヘキシル 1,3-ジフェニレンジアミン	kg	0	0	0	8	28	1,164	0	2,068	
3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノ ジフェニルメタン	kg	0	0	0	0	0	0	0	3,362	
N-(1,3-ジメチルブチル)-N'- フェニル-P-フェニレンジアミン	kg	0	0	0	35	0	840	0	0	
テトラエチルチウラムジスルフィド	kg	0	0	0	42	0	5	0	0	
2-イミダゾリジンチオン	kg	0	0	0	13	0	0	0	0	
メチレンビス（4,1-フェニレン） ジイソシアネート	kg	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	kg	6	167	614	29	86	298	1	1	
合計	kg	11,417	2,654	15,708	122	2,280	48,851	1,534	16,471	
環境事故/苦情件数			0	0	0	0				
環境事故件数			0件	0件	0件	0件				
環境苦情件数			0件	0件	0件	0件				

アンケートご協力をお願い

(該当項目に○をつけて下さい)

三ツ星ベルトグループの「環境報告書2012」をご覧いただきまして誠にありがとうございます。今後の報告書の改善に活用させていただくために、皆様のご意見、ご感想を賜りたいと存じます。お手数ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

1. この環境報告書をお読みになって、どのようにお感じになりましたか？

1－分かり易い 2－普通 3－分かりにくい

2. 情報量についてはいかがでしょうか？

1－充実している 2－普通 3－不足

3. この環境報告書の中で、特に関心をもたれた項目はありますか？(いくつでもご記入下さい)

1－ごあいさつ 2－会社概況 3－製品紹介 4－マテリアルバランス 5－環境経営(環境マネジメント)に関する状況 6－環境保全に向けた取り組み 7－事業場別環境データ

4. この環境報告書をお読みになって、当社の取り組みについてどう思われますか？

1－評価できる 2－普通 3－評価できない

5. どのような立場から、この環境報告書をお読みいただきましたか？

1－製品ユーザー 2－製品購買担当者 3－企業の環境担当者 4－NGO・NPO 5－学生 6－事業所近隣住人 7－株主 8－投資家 9－報道関係 10－行政関係 11－その他

6. ご意見・ご要望がありましたらご記入下さい。

お差し支えない範囲でご記入下さい。

お名前		性別	男・女	ご年齢	歳
ご住所	〒				
ご職業・勤務先					

ご協力ありがとうございました。

個人情報につきましては、適切に管理を行うとともに、報告書の作成以外の目的では使用いたしません。ご同意いただいた上で、ご記入・ご回答をお願い申し上げます。

FAXまたは郵送にてご送付ください。

FAX：078-685-5670

三ツ星ベルト株式会社 安全環境管理部

〒653-0024 兵庫県神戸市長田区浜添通4丁目1番21号

環境報告書2012

発行年月日 2012年12月10日

三ツ星ベルト株式会社

安全環境管理部

社長室 広報担当

